

# 使い捨てプラスチック削減協定関連事業

## 背景

- 近年、プラスチックごみによる海洋汚染が世界的に問題になっており、国では、令和元年5月に「プラスチック資源循環戦略」、6月にレジ袋有料化義務化の方針が出され、東京オリンピック・パラリンピックに合わせた実施に向けて、積極的に進められている。
- 本市では、SDGs 未来都市に選定されたことを踏まえ、必要のないプラスチックをできるだけ使用しないプラスチックフリーなライフスタイルへの転換を促す、使い捨てプラスチック削減運動「PLASTIC-Free チャレンジ」を推進している。また、令和元年10月には、市内11事業者と市民団体・堺市で「堺市域における使い捨てプラスチック削減に関する協定」を締結した。

### <協定の主な概要>

- 事業者** レジ袋を含む使い捨てプラスチックの削減に積極的に取り組む
- 市民団体** 使い捨てプラスチック削減への呼びかけや市民の意識向上のための啓発活動を行う
- 堺市** 使い捨てプラスチック削減を市民に啓発するとともに、事業者・市民団体の取組を発信する

## 実施内容

協定をもとに、堺市域における必要のない使い捨てプラスチック削減に向け、3者協働で取り組む。

### ○ 協定締結による連携事業

- ・ マイバッグ携帯キャンペーン

協定締結事業者の店舗で、アンケート調査（5問程度）に回答してくれた市民に対し、マイバッグ及びプラスチック削減啓発チラシを配布

- ・ 使い捨てプラスチック削減に関する啓発

「ごみ減量啓発パネル展」や「出前講座」を通じ、ごみやプラスチック削減のために市民がその日から行える取組などを紹介し、市民意識の向上を図る。

### ○ 「堺市域における使い捨てプラスチック削減に関する協定」締結者の募集

レジ袋など使い捨てプラスチックの削減に積極的に取り組む事業者および市民への啓発活動などに積極的に取り組む団体を募集する。



## 期待される効果

- 市民意識の向上 ⇒ マイバッグやマイボトルの携帯など、必要のないプラスチック削減に向けた動きが広がる。
- ごみ減量効果 ⇒ 約2.04トンの減量  
(レジ袋1枚6.8グラム×マイバッグ3000枚×100回使用=2.04トン)